

女川原発を再稼働させず 原発からの撤退を進める要請署名

東京電力福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実をもって明らかにしました。現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。原発はばく大な放射性物質（死の灰）をかかえています、それをどんな事態がおきても閉じ込めておく完全な技術は存在しません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても影響を及ぼします。

そうした原発が、世界有数の地震・津波国であるわが国に集中立地していることは危険きわまりないことです。東北電力女川原子力発電所は、東日本大震災で外部電源を4系統失うなど事故まで紙一重でした。巨大地震の震源地直近に位置している東北電力女川原子力発電所は、他の原発に優先して廃炉にすべきです。

歴代政府が「安全神話」にしがみつき、安全対策をとらなかったことが、どんなに深刻な結果をもたらすかも明瞭となりました。東北電力女川原子力発電所の30キロ圏内（UPZ=緊急時防護措置準備区域）には31万人もが生活しており、80キロ圏には全市町村が含まれます。重大事故が起こった場合、住民に速やかに連絡することも避難させることも不可能なことは明らかです。

以上をふまえて、何よりも県民の命・安全、そして生業と財産、かけがえのない故郷を守るために、東北電力女川原子力発電所の再稼働中止と原発からの撤退を要求します。



この署名は村井嘉浩・宮城県知事に提出し、中村功・県議会議長にも陳情を提出します。
東北電力の海輪誠社長あてに、署名数を伝えて再稼働中止を申し入れます。

要請項目

1. 東北電力女川原子力発電所は再稼働させないこと。
2. 原発からの撤退を決断すること。
原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくるよう、政府に求めること。

氏名	住所

呼びかけ団体 宮城県母親連絡会、日本科学者会議宮城県支部、宮城県労働組合総連合、東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター、原発問題住民運動宮城県連絡センター 問い合わせ先電話 022(234)1335

署名の送付先 〒981-8560 仙台市青葉区柏木 1-2-45 宮城県高等学校・障害児学校教職員組合内

取扱団体